

刈谷市まち・ひと・しごと
創生総合戦略推進状況
(令和3年度)

刈 谷 市
令和4年12月

目次

1	はじめに	1
2	戦略の推進	2
3	具体的な取組	3
	【基本目標1】 結婚・子ども育成支援.....	3
	【基本目標2】 しごと・雇用創出支援.....	6
	【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援.....	10
	【基本目標4】 住環境整備.....	14
	【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進.....	17

1 はじめに

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少・超高齢化という課題に向けての本市の考え方などを定めています。

本戦略が掲げる目指す姿・目標の実現のために、適切な進行管理を行う必要があることから、このたび令和3年度の推進状況をまとめました。今後も住みよい環境の確保など、自立的で持続可能な社会の実現を目指し、国と地方が一体となって推進していきます。

【総合戦略の構成イメージ】

《総合戦略の基本方針》

「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指す

《人口規模の目標》2060年：人口 約16万人

【課題1】

- ◆ 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現する

更なる出生率の向上（合計特殊出生率の向上）

【課題2】

- ◆ 居住地として選ばれるよう暮らしやすいまち・子育てしやすいまちとしての魅力を高める

子育て世代の転出抑制

（ターゲットを絞った移動率の改善）

《基本目標1》

結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

《基本目標2》

しごと・雇用創出支援

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

《基本目標3》

活動・交流・にぎわい支援

～安心・快適に住み続けられ、多くの人が訪れるまち(地域)をつくる～

《基本目標4》

住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

《共通事項》

刈谷の魅力発信の推進

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

《地域連携の視点》

地域連携による取組

～官民連携や市町村間連携による持続可能な地域をつくる～

人が集まる

出産・子育てしやすい環境の整備・向上、移動率の改善を目指し、基本目標に掲げる取組を実現することで、自立的で持続的な社会を創生する

住む

育む

働く

学ぶ

遊ぶ

2 戦略の推進

① 重点事業の実施

本戦略の基本方針である「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」「2060年に人口約16万人」を目指して、『結婚・子ども育成支援』『しごと・雇用創出支援』『活動・交流・にぎわい支援』『住環境整備』の4つの目標を設定し、それぞれの目標を達成するため、「出生率の向上」と「社会移動の改善」が期待でき、取組効果が高い具体的な事業を選別し、重点的に推進します。

② 効果検証

本戦略は、各取組ごとに位置付けられている重点事業について、毎年推進状況を把握し、進行管理を行います。

【資料の見方】

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷の魅力発信事業 (※地方創生交付金事業)	無料Wi-Fi環境を提供したことにより、公共施設利用者の利便性が向上することに加え、市内におけるWi-Fi環境普及率が増加し、本市の魅力向上に繋がった。 【刈谷の魅力発信事業】	企画政策課 広報広聴課 文化観光課

地方創生関連の交付金を活用した事業に記載

推進に予算を伴う場合は令和3年度の予算事業名を記載

また、下記表のとおり戦略全体の目標に加え、具体的な施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに、成果に係る目標を数値で示した重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

この指標を基に、PDCAサイクルで施策・事業の効果検証、改善などを図り、計画的に推進していきます。

重要業績評価指標（KPI）	策定時（H26）	現状値（R3）	目標値（R4）
住みやすさを実感している市民の割合	82.4%	84.7%	85%
住み続けたいと思っている市民の割合	88.7%	87.0%	90%
誇りや愛着を感じている市民の割合	75.8%	71.1%	80%
合計特殊出生率	1.77	1.45	1.82
0～9歳人口	14,990人	14,230人	16,000人

3 具体的な取組

【基本目標1】 結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (R3)	目標値 (R4)
出生数	1,747人	1,425人	1,800人
子どもを生き育てやすいと思う市民の割合	78.1%	80.9%	81%
待機児童数	8人	4人	0人

方向性1 若い世代の結婚・出産の意欲を高め、希望を実現する

取組① 結婚に対する関心・意欲向上に向けた啓発と交流機会の提供

重点事業	推進状況	担当課室名
家族・子育て家庭の情報発信	<p>定住促進冊子「myKARIYA」や市民だより1月15日号の子育て特集により、子育て環境の良さをアピールした。【刈谷の魅力発信事業、市民だより作成事業】</p> <p>新たに市民となる子の誕生を祝い、記念品を贈り、本市の魅力づくりに努めた。【誕生お祝い事業】</p> <p>刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」を活用し、効果的に情報発信することで、「子育てしやすいまち」をPRした。</p>	<p>広報広聴課 市民課 子育て推進課</p>
若い世代の交流の場づくり	<p>女性の会が行う婚活イベントを支援し、結婚を希望する男女に出会いの場を提供することができた。【結婚活動応援事業】</p> <p>若い世代のニーズにあった講座を企画し、受講後もお互いが仲間となって活動できる場を提供した。【青年講座開催事業】</p>	<p>市民協働課 生涯学習課</p>
ライフプラン関係講座の実施	<p>子育て世代を対象に子育てや自分らしさについて学ぶ講座を実施し、受講後も活動できる場を提供した。参加人数：子育てカレッジ17人【男女共同参画啓発事業】</p> <p>例年、市内全中学校の3年生が、実際に幼稚園等に出かけ、幼児と遊ぶ体験をし、次世代の親として成長していく過程で理解・体験すべき内容を知る機会を設けている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の中学校で園への訪問を行うことができなかったが、幼児の特性や成長段階に応じた遊び方、その留意点等については、全中学校において、家庭科や総合的な学習の時間の授業を通して学習した。【保育体験実施事業】</p>	<p>市民協働課 学校教育課</p>

取組② 結婚・出産しやすい環境づくり

重点事業	推進状況	担当課室名
訪問体制の充実（あかちゃん訪問、育児ママ訪問等）	あかちゃん訪問では、助産師等の訪問指導により、母親の育児不安の軽減を図ることができた。訪問利用率：82.5%【育児健康支援事業】 育児ママ訪問サポートでは、育児に対し不安を感じている母親のところへ訪問し、傾聴することで育児に対する不安を和らげるとともに、子育て支援センター等支援施設の情報提供をし、地域へつなげた。延べ訪問回数：207回【育児ママ訪問サポート事業】	子育て支援課
妊娠・出産・子育て包括支援事業	保健センターに開設した『妊娠・子育て応援室』において、妊娠期から子育て期にわたるさまざまな相談に対応するとともに、支援計画を立案し関係部署と連携して虐待予防の観点から切れ目のない継続的な支援を行った。延べ来所者数：460人【妊娠・出産・子育て包括支援事業】	子育て支援課

方向性2 子育てニーズにあった切れ目のない支援・教育環境を実現する

取組① 子育て支援・教育情報の発信・PR

重点事業	推進状況	担当課室名
“子育て応援 City・刈谷” PR 事業	子育てに関する行政サービスや施設等の情報を収集・整理した子育てガイドブックを発行し、充実した子育ての取組を効果的に情報発信した。【子育てガイドブック作成事業】	子育て推進課

取組② 子育て支援施策の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
子育てコンシェルジュ事業	子育てコンシェルジュが多様な子育て情報を収集し、利用者が自分に合った子育て支援の施設やサービスを選択し利用できるようサポートした。子育て世帯に身近な場所に子育てコンシェルジュを配置し、相談しやすい体制を整えた。配置施設数：43か所、相談件数：1,047件【子育てコンシェルジュ事業】	子育て支援課
ファミリー・サポート・センター制度	育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を組織化し、地域における育児の相互援助活動を推進した。会員数：3,369人、活動件数：6,260件【ファミリーサポートセンター運営事業】	子育て支援課

取組③ 教育の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
園舎・校舎の改修・改築	老朽化した校舎を計画的に改修し、教育環境の改善、安全性の向上を図ることができた。【富士松中学校大規模改造事業、依佐美中学校大規模改造事業】	教育総務課

方向性3 出産や子育てと仕事を両立できる社会を実現する

取組① 出産や子育てに対する理解の促進

重点事業	推進状況	担当課室名
市内に拠点のあるファミリーフレンドリー企業の紹介	「ファミリー・フレンドリー企業」(男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境をもつ企業)についてホームページによりPRを行うなど、ワーク・ライフ・バランス推進に寄与した。	商工業振興課
男女共同参画啓発事業、男女共同参画プラン推進事業	広報紙やホームページを活用した啓発、イベントや講座等を開催し、市民の男女共同参画意識の向上に努めた。 【男女共同参画啓発事業】 公募委員を含む男女共同参画推進審議会及び市内の関係部署で構成する推進部会を行い、施策の推進状況に対する意見収集を行った。【男女共同参画プラン推進事業】	市民協働課

取組② 出産や子育てと仕事を両立できる環境の整備

重点事業	推進状況	担当課室名
保育園の新設誘致・定員拡大	かりやYMCA 保育園の新設補助を行い、135名の定員拡大を図ることができた。【私立保育所整備支援事業】	子ども課
児童クラブの開設時間延長	開設時間について、下校時から19時00分(従前は18時30分)まで、土曜日及び学校長期休業期間については、7時30分から19時00分(従前は8時00分から18時30分)まで拡大した。(平成29年度以降実施中)【放課後児童クラブ運営事業】	子育て推進課
幼児園預かり保育の充実	就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の健診、学校行事やボランティアへの参加など、支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。	子ども課

【基本目標2】 しごと・雇用創出支援

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (R3)	目標値 (R4)
製造品出荷額等	17,389億円(H25)	15,850億円(R1)	17,700億円
市内の商店街でよく買い物をしている市民の割合	47.4%	85.2%	90%
刈谷市全産業従業員数(事業所別)	102,374人(H24)	114,834人(H28)	120,000人

方向性1 バランスの取れた工業振興を実現する

取組① 産業エリアの形成

重点事業	推進状況	担当課室名
産業立地促進補助事業	愛知県の補助制度の利用についても県と連携しながら対応し、企業の市外流出防止とともに地域経済の振興を図ることができた。【産業立地促進補助事業】	商工業振興課
工業用地の創出に向けた調査事業	依佐美地区第2期開発予定地内地権者の事業同意を取りまとめ、愛知県企業庁へ提出、開発検討地区としての位置付けを得た。企業、開発事業者に対し、事業への周知を図り、用地需要の喚起を図った。【企業立地推進事業】 依佐美地区の2期開発予定地における地区計画の都市計画決定について、関係機関等との調整を行った。【拡大市街地調査推進事業】	企業立地推進室 まちづくり推進課

取組② 技術開発・情報の交流支援

重点事業	推進状況	担当課室名
中小企業活性化事業	中小企業コンシェルジュによる企業訪問により、市内中小企業と情報交換を行い、中小企業のニーズや経営課題を把握することができた。【中小企業活性化事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
新産業技術開発支援補助事業	企業の新たな技術開発を支援するとともに、公的試験機関の利用促進の一助となった。【新産業技術開発支援補助事業】	商工業振興課
見本市等出展支援事業	補助金を交付することで企業の出展意欲を喚起し、市内の優れたものづくりの技術力を発信して企業の販路拡大や新たなビジネスパートナーの発掘を支援できた。【見本市等出展支援事業】	商工業振興課

取組③ 中小企業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
中小企業活性化事業【再掲】	中小企業コンシェルジュによる企業訪問により、市内中小企業と情報交換を行い、中小企業のニーズや経営課題を把握することができた。【中小企業活性化事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業【再掲】	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
信用保証料補助事業	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	事業者が支払う利子の一部を補助することで、小規模事業者経営改善資金融資制度の利用促進を図り、資金繰りの一助とすることができた。【小規模事業者経営改善資金利子補給事業】	商工業振興課

方向性2 生活拠点におけるにぎわいのある商業環境を整える

取組② 魅力ある店舗づくり・消費喚起

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗(空き店舗)の活用に関する検討	空き店舗活用の一助となるよう、商店街などの商業団体に対して、空き店舗活用に関する補助制度を実施している。また、商店街が実施するイベントや情報誌作成に係る経費を補助することで、地域住民に商店街をPRし、販売促進と商店街の活性化の一助とすることができた。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課
中小企業活性化事業【再掲】	中小企業コンシェルジュによる企業訪問により、市内中小企業と情報交換を行い、中小企業のニーズや経営課題を把握することができた。【中小企業活性化事業】	商工業振興課
商業団体事業費補助事業	商店街が実施するイベントや情報誌作成に係る経費を補助することで、地域住民に商店街をPRし、販売促進と商店街の活性化の一助とすることができた。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課
がんばる事業者応援事業	経営課題を抱える事業者に対して、各課題に応じた専門講師を派遣することで、事業者が新商品・新サービス開発などに取り組むことができた。【がんばる事業者応援事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

方向性 3 持続可能な農業を目指す

取組① 生産基盤の強化

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷北部地区土地改良事業	今川今岡工区、西境工区では用・排水路、区画整理の工事と各地区翌年度工事予定の測量設計等を行った。また、井ヶ谷地区では、地元農業者等と意見交換を行い、事業の着手準備を行った。【県営経営体育成基盤整備事業（刈谷北部地区）】	農政課
農業用施設等補修事業	排水路に堆積している汚泥の浚渫や破損している箇所 の補修により、排水能力と衛生面を改善し、水路機能を保持することができた。【農業用施設等補修事業】	農政課 雨水対策課

取組② 担い手の育成

重点事業	推進状況	担当課室名
新規就農総合支援事業	新規就農希望者に対して、農業大学校及び西三河農業改良普及課と連携して相談支援を行うことができた。また、刈谷生きがい楽農センター第13期野菜作り研修（研修期間1年間）の修了生を16名輩出した。【農業人材力強化総合支援事業、刈谷生きがい楽農センター運営事業】	農政課

取組③ 刈谷農産物のブランド化などの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷農産物のブランド化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、農産物のブランド化を推進した。【農畜産物特産化補助事業】 地元農産物の魅力を知ってもらうため、市外からの通勤者の多い企業の食堂などで使用できないか等、新たな販路について検討を行った。	農政課
6次産業化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、6次産業化を推進した。【農畜産物特産化補助事業】 6次産業に関心のある法人に対し、農業参入についての相談対応を行った。	農政課

方向性 4 新産業育成のための起業・創業を支援する

取組① 起業・創業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
オープンデータ等の利活用に関する検討	あいち電子自治体推進協議会のオープンデータに関するガイドラインに沿って、公開データを更新した。	広報広聴課 情報政策課

重点事業	推進状況	担当課室名
信用保証料補助事業【再掲】	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

方向性5 女性・シニア・若年層の就労を支援する

取組① 世代・性別に応じた就業支援（市内企業の雇用支援）

重点事業	推進状況	担当課室名
高校生コマ大戦等開催事業	次代のものづくりを担う高校生に対して「ものづくりのまち刈谷」をPRするために、次年度以降の全国高校生コマ大戦開催の準備をした。【高校生コマ大戦等開催事業】	商工業振興課
中小企業活性化事業【再掲】	中小企業コンシェルジュによる企業訪問により、市内中小企業と情報交換を行い、中小企業のニーズや経営課題を把握することができた。【中小企業活性化事業】	商工業振興課
就業支援事業	セミナー参加者からは、役に立った、悩みが解消した、有意義であった等の多くの声が寄せられ、成果を数値では表せないが、就業支援に繋がった。【就業支援事業】	商工業振興課
労働者福祉助成事業	各団体の積極的な取組により、労働者等の育成・支援が図られ、工業の振興に繋がった。【労働者福祉助成事業】	商工業振興課

【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援

～安心・快適に住み続けられ、多くの人を訪れるまち（地域）をつくる～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (R3)	目標値 (R4)
観光施設の利用者数	1,046 万人	816 万人	1,120 万人
刈谷駅周辺が活気や魅力があると思う市民の割合	55.5%	60.6%	65%
各種施設が整い、文化やスポーツ、生涯学習などに取組みやすいと思う市民の割合	75.4%	74.7%	77%

方向性 1 市内外から多くの人を訪れるまちを目指す

取組① 魅力ある歴史・文化資源の発掘

重点事業	推進状況	担当課室名
亀城公園再整備事業、刈谷の魅力発信事業、企画展開催事業	<p>特色ある 3 つの企画展を開催することで、様々な歴史資料に触れる機会を来館者に提供することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史へのいざないー佐藤コレクションの魅力ー ・戦時下の刈谷ー人びとの暮らしと記憶ー ・豊臣秀次ー刈谷に新時代をもたらした関白殿下ー <p>【刈谷の魅力発信事業、歴史へのいざない展開催事業 戦時下の刈谷展開催事業、豊臣秀次展開催事業】</p> <p>魅力あふれる公園づくり事業において、亀城公園を含む本市の魅力を発信する 5 つの公園の将来構想の策定に向けた取組を実施した。【亀城公園再整備事業】</p>	文化観光課 公園緑地課

取組② 市内外の交流を深める PR・イベントの実施

重点事業	推進状況	担当課室名
観光推進体制の強化事業、観光協会補助事業、観光団体補助事業	<p>観光協会と連携し、新型コロナウイルス対策を講じた上で、各イベントを実施し、本市の魅力を高めることができた。また、衣浦定住自立圏で令和 4 年度に発行する観光パンフレットの取扱いテーマを構成市町と協議し決定したほか、西三河 10 市町の周遊を促進する「西三河ぐるっとグルメスタンプラリー」を実施した。【広域観光推進事業】</p> <p>観光協会との連携施策である観光案内所では、刈谷の地域を特集した観光冊子の作成経費を補助することで観光交流に寄与した。【観光協会補助事業】</p>	文化観光課

方向性2 中心市街地や商店街の活性化・にぎわいの創出を実現する

取組① 刈谷駅・刈谷市駅周辺のにぎわい創出

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷駅北口における市民活動スペースの設置事業	竣工した民間の高層複合ビルに地域交流施設を整備・開設するとともに、施設利用者による各種交流イベントが開催され、にぎわい創出に寄与した。【刈谷駅北地区整備事業】	市街地整備課
刈谷市駅前地区市街地再開発事業	法定再開発の事業化に向けた調整を図るとともに、地元が行う事業手法の見直し検討に対する指導・助言を行った。【刈谷市駅前市街地再開発事業】	市街地整備課

取組② 商店街の活性化

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗(空き店舗)の活用に関する検討【再掲】	空き店舗活用の一助となるよう、商店街などの商業団体に対して、空き店舗活用に関する補助制度を実施している。また、商店街が実施するイベントや情報誌作成に係る経費を補助することで、地域住民に商店街をPRし、販売促進と商店街の活性化の一助とすることができた。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課

方向性3 スポーツを通して活動・交流ができるまちを目指す

取組① 競技スポーツを活かしたスポーツ振興の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
国際大会等の誘致	オリンピックでは、聖火リレーのほか、東京2020オリンピック事前合宿刈谷市実行委員会を開催し、バスケットボール女子カナダ代表の事前キャンプを実施。期間中の様子を録画した動画の配信や、選手と小中学生によるオンライン交流を行った。パラリンピックでは、聖火フェスティバル刈谷市採火式を実施した。 また、国際スポーツ大会等誘致推進委員会を開催し、アジア競技大会の開催の準備状況などの共有を図った。【国際スポーツ大会等招致事業】	スポーツ課
ホームタウンパートナー事業の推進	国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知するため、市制施行70周年プラス1を記念して、各リーグへの親子観戦招待を実施した。 また、学校派遣型及び参集型の刈谷キラキラ教室を開催し、子どもたちへの技術指導や各リーグの試合への観戦招待を実施した。 「する・みる・ささえる」というスポーツと関わる機会を提供し、スポーツ振興を図った。【ホームタウンパートナー事業】	スポーツ課

取組② だれもが参加できる市民スポーツの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
スポーツを体験する場づくりの推進	市民が気軽に参加できる競技大会やイベントを開催し、幼児や小学生、60歳以上の方などに対し、世代を問わず多様なスポーツ活動への参加機会を提供した。	スポーツ課
スポーツ教室の充実	<p>スポーツ推進委員においてはスポーツふれあい day、地区行事等でニュースポーツの指導を行うことにより、地域におけるスポーツ活動の場づくりや活動機会の幅を広げるよう努めた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブにおいては、新型コロナウイルス感染症対策の経費等を支援することにより、コロナ禍においても地域におけるスポーツ活動を継続し、バドミントン交流会を開催するなど地域間の交流の促進を図った。【各種大会開催事業、ニュースポーツ普及事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業、スポーツ推進委員事業】</p>	

方向性 4 多様な世代が活躍でき、安心・快適な暮らしを支える地域コミュニティを実現する

取組① 学生と連携したきっかけづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
学生と連携したイベントの開催	愛知教育大学の学生サークルと連携し、夢と学びの科学体験館において、4月と8月の年2回特別講座「愛教大訪問科学実験」の企画運営を共同実施した。	子育て推進課 商工業振興課 まちづくり推進課
学生によるチャレンジショップの実施	スペース Aqua における各種イベント事業やアート作品の展示などの運営協力を行った。【中心市街地活性化推進団体支援事業】	

取組② 市民活動・ボランティア活動の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
市民ボランティア活動センターの充実	刈谷市民ボランティア活動センターにおいて、個人や団体のボランティア活動の立上げ、運営に関する相談、個人や団体同士を結びつけるマッチング業務を通して、ボランティア活動を支援した。刈谷市民ボランティア活動センター登録団体数：547 団体、相談件数：1,293 件、マッチング件数：80 件【市民ボランティア活動支援事業】	市民協働課
市民活動支援基金補助金による市民活動の支援	市民団体が行う活動に対し、まちづくり活動支援事業補助金を交付した。申請件数：3 件、補助額（令和2年度採択分）：498 千円【市民協働推進事業】	市民協働課

取組③ 地域コミュニティの充実

重点事業	推進状況	担当課室名
「わがまちのしゃべり場」開催	市民主体のメンバーで企画・運営を行う「わがまちのしゃべり場」について、市民を交えた検討会議をオンラインにて開催した。参加者数：3人【市民協働推進事業】	市民協働課
元気な地域応援交付金	令和3年度は6地区が事業採択されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1地区事業が中止となったため、5地区に対して交付金を交付した。また、令和4年度の事業申請に向けた住民会議が行われたことにより、地域の絆づくりのきっかけとなった。補助額：2,104千円【地域活動活性化事業】	市民協働課
病診連携推進事業	診療所と病院の役割分担と連携、上手なお医者さんのかかり方などに関する住民等への啓発を行った。【病診連携推進事業】	健康推進課

【基本目標4】 住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (R3)	目標値 (R4)
快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合	79.8%	80.5%	81%
災害に強いまちと思う市民の割合	55.9%	63.4%	70%
犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合	61.1%	65.1%	67%
車や自転車などで移動しやすいと思う市民の割合	65.4%	70.1%	71%

方向性1 住み続けたい、住んでみたいと思われる良好な住環境を確保する

取組① 既成市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
空家等対策推進事業	管理不全の老朽空き家の除却を促進するため、除却に対する補助を行った。【空家等対策推進事業】	まちづくり推進課
低未利用地の活用	民間活力を活用した共同化による土地の高度・有効利用を誘導するため、都市計画決定図書の素案を作成した。【土地利用計画検討事業】	まちづくり推進課 市街地整備課
中心市街地の活性化とまちなか居住の促進		

取組② 新市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
拡大市街地調査推進事業	小垣江町北部地区について基盤整備を想定した地元組織化に向けて、一部区域の権利者と意見交換等を実施した。【市街地整備調査推進事業】	まちづくり推進課 市街地整備課

方向性2 安心・安全な都市基盤を整備する

取組① 災害に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
防災備蓄品等の整備	災害に備えて備蓄倉庫内の非常食を計画的に更新し、資器材の管理等を行った。また、避難所における感染症対策に必要な資器材の整備、管理を行い、災害への備えを強化した。【災害対策管理事業】	危機管理課
地域防災力の強化	自主防災会の活動を支援するため、防災資器材の整備や活動に対して、補助金を交付したほか、自主防災推進会議を開催し、地域防災の課題について学んだ。【地区防災対策事業】 消防団詰所の保守管理を行い、消防団員が活動しやすい環境を整備した。【分団詰所管理事業】	危機管理課

重点事業	推進状況	担当課室名
住宅などの耐震化の促進	耐震改修を促進させるため、地域住民と協働での耐震啓発ローラー作戦や自主防災会の防災訓練時に勉強会を実施した。職員による市内のブロック塀等の無料相談会を実施し、ブロック塀等に対する地震対策促進に注力した。【わが家の地震対策事業】	建築課
治水・雨水対策の推進	<p>草野池の護岸改修を推進した。【準用河川草野川改修事業】</p> <p>排水機場の機械設備等を改修することで、安定した排水能力を保持し浸水被害を防止した。【排水機場改修事業】</p> <p>水防倉庫の整備を推進し、地域における水防力の向上を図った。【水防倉庫整備事業】</p> <p>公共下水道の雨水管の整備を推進し、浸水被害の軽減を図った。【公共下水道雨水整備事業】</p>	雨水対策課

取組② 犯罪に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
街頭防犯カメラの設置	地区や警察と協力して、主要交差点や公園、保育園周辺等へ防犯カメラを設置した。(令和3年度末時点の設置台数 1,250 台)【街頭防犯カメラ設置事業】	くらし安心課
防犯灯 LED 化の推進	地区の要望等に基づき、必要な箇所へ LED の防犯灯を設置した。(令和3年度末時点の設置台数 8,532 基)【防犯灯設置事業】	くらし安心課

取組③ 交通安全対策の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
交通安全施設の点検を強化	点検計画に基づき道路安全灯等の劣化状況を点検・修繕し、安全な交通環境を維持することができた。【交通安全施設管理事業】	くらし安心課
ゾーン 30 の推進	通学路の危険箇所調査や地区の要望等に基づき、警察と連携して新たに指定する区域等を検討した。また、ハンプ等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン 30 プラス」として設定するための検討を進めた。	くらし安心課

方向性③ “ひと” と “環境” にやさしく持続可能な総合交通体系を構築する

取組① 道路の整備

重点事業	推進状況	担当課室名
電線類地中化の推進	電線類地中化工事を行い、緊急輸送道路等の機能確保や安全で快適な歩行空間を確保することができた。【都市計画道路 3・4・551 刈谷環状線電線類地中化事業、市道 2-485 号線他道路新設改良事業】	道路建設課

重点事業	推進状況	担当課室名
歩道の段差等解消に関する取組	歩道のバリアフリー工事を行い、安全で快適な歩行空間を整備することができた。【都市計画道路3・4・551刈谷環状線電線類地中化事業】	道路建設課
幹線道路に関する調査・検討（スマートIC、西三河知多アクセス道路、南北縦貫道路）	刈谷スマートIC及びその周辺道路の整備が完了した。 南北縦貫道路については、市道01-4号線及び市道01-40号線の整備を実施した。また、西三河知多アクセス道路については、整備効果の取りまとめを行い、「西三河知多アクセス道路」を「名古屋三河道路」の優先整備区間とし、要望活動を実施した。【市道01-4号線他道路新設改良事業、市道01-40号線他道路新設改良事業、市道01-41号線他道路新設改良事業】	道路建設課

取組② 公共交通ネットワークの充実

重点事業	推進状況	担当課室名
交通課題把握のための調査等を実施	中京都市圏パーソントリップ調査を予定していたが、調査の目的である人の動きが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため大きく制限されたことから、調査時期を延期した。【都市交通計画調査推進事業】	都市交通課
公共施設連絡バス等の調査・検討を実施	市民アンケート、公共施設連絡バス「かりまる」利用者アンケート等を実施し、市民の公共交通や移動の実態を調査した。地域公共交通計画策定の検討を行った。【公共交通再編事業】	都市交通課
移動手段の適正化に向けた調査・検討を実施	工事用通路の整備などを実施し、ホーム拡幅や駅舎増築に着手した。市は事業主体である東海旅客鉄道株式会社への補助を実施した。【JR刈谷駅総合改善事業】	都市交通課

方向性4 公共施設の最適な配置を検討し、計画的な更新・長寿命化を図る

取組① 公共施設の総合的かつ計画的な管理及び維持保全を図る

重点事業	推進状況	担当課室名
公共施設維持保全計画の推進	施設所管課とのヒアリングや現地調査を行い、施設の劣化状況の把握に努め、施設の長寿命化に資する次年度の保全計画を作成した。また、施設の保守点検業務委託の契約の見直しを行い、経費の削減を図った。【公共施設維持保全計画推進事業】	施設保全課

【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

戦略的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ Web サイトや SNS などのソーシャルメディア、新聞や情報誌などの産業メディアの効果的な活用 ○ 企業等とタイアップした積極的な取組の展開 ○ 刈谷らしさの創造、展開 ○ 既存の名産品、マスコットキャラクターの活用
まちの魅力の再確認・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て・住みやすさなどの可視化、歴史文化の再確認 ○ 多様な学習機会、文化交流の場の提供 ○ 伝統行事の継承・発展、誇るべき地域資源の活用 ○ 企業城下町の強みを活かす取組の推進
推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部等における魅力づくりのための職員の意識の向上 ○ 部署間の連携体制強化

重点事業	推進状況	担当課室名
まちの魅力創出施策推進のための職員研修の実施	「稼ぐ公民連携が地域を変える」をテーマに衣浦定住自立圏共生ビジョン推進講演会を開催し、持続可能なまちづくりのために必要な職員等の資質向上を図った。【衣浦定住自立圏連携事業】	企画政策課
刈谷の魅力発信事業	<p>無料 Wi-Fi を提供することで、公共施設利用者の利便性が向上したことや、市の情報を発信したことなどにより、本市の魅力の向上に繋げることができた。また、刈谷ハイウェイオアシスでは、市制施行 70 周年プラス 1 事業としてプロジェクションマッピングを実施し、市内外を問わず多くの方に本市の魅力を発信することができた。</p> <p>子育て世帯の人が定住地として本市を選択していただけるよう、本市の魅力の効果的に発信するための定住促進冊子「myKARIYA」を作成、配布した。</p> <p>市内外のイベント等において、刈谷城盛上げ隊の出演により刈谷市の魅力を PR し、まちの活性化に寄与することができた。</p> <p>刈谷城盛上げ隊を運営することで歴史文化の啓発に努めた。【刈谷の魅力発信事業】</p>	企画政策課 広報広聴課 文化観光課

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進状況（令和3年度）

発行 愛知県刈谷市
編集 企画財政部企画政策課
〒448-8501
愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地
TEL 0566-23-1111（代表）
FAX 0566-23-1105
URL <http://www.city.kariya.lg.jp>